

～講習会内容～

会場	高山市文化会館
講師	☆ ピアノ Ratimir Martinovic 碓井俊樹 ☆ヴァイオリン Ivri Gitlis Eduard Schmieder 清水高師 沼田園子 ☆ヴィオラ 大野かおる ☆チェロ 菅野博文

受講料 105,000円(消費税込)演奏会参加費、ピアノ伴奏ピアノ使用料含む
申し込み後の返金は出来ませんので、予めご了承下さい。

日時、内容 8月18日15時より22日15時まで 4回の個人レッスン

応募方法 申込締切 2011年7月16日 必着

カセットテープ・MDに最近の本人の演奏を1曲収録し
(長さは問いません)楽器名・氏名・曲名・収録年月日を
テープに明記し講習会申し込み用紙とともに音楽祭
事務局まで送付してください。(過去に当講習会又はYBP講習会に
参加した方、講師の生徒は審査免除)
(応募されたカセットテープは返却されません)

審査 テープにより受講生を選考します。(審査料:無料)

その他 レッソンは原則として公開されます。
(聴講は講習生は無料、一般は有料です)
※聴講料:10,000円
レッスンには講師の判断で伴奏がつく時もあります。
外国人講師には希望者のみ通訳がつかます。
通訳料1レッスン千円 (18日文化会館受付にて申込)

宿泊 1泊 6,500円(宿泊所は合格通知書に明記)
懇親会参加費を含みます

交通手段 各自現地集合(新宿発チャーターバス有)

主催 飛騨高山音楽祭実行委員会

問い合わせ
〒102-0093
東京都千代田区平河町1-7-19-6F
飛騨高山音楽祭事務局
TEL 03-3264-2206 FAX 03-3264-2208
講師は都合により、変更になる場合がございます。予め、ご了承下さい。
演奏会の曲目は事務局が決定いたします
ホテルの申し込みも講習申し込みと同じく、7月16日必着にて締切ります。
申し込み後のキャンセル、変更は致しませんので予めご了承下さい。

特別講師
イヴリー・ギトリス
世界を代表するヴァイオリニストである。
現在も主要オーケストラ、音楽祭で活躍中

講師
Piano
マルティノヴィッチ・ラティミール

ラティミールは全国モンテネグロコンクールに2度優勝し、ユーゴスラビア国際ピアノコンクール、ドナウ国際コンクール、台湾で行われたフレデリックショパンコンクール、フランスのFLAME国際コンクールに全て優勝。NHKをはじめ主要10カ国でテレビに出演する他世界各国のオーケストラと共演している。教育の分野ではヨーロッパピアノ協会モンテネグロ代表としてノビサダ大学で後進の指導を行う。

碓井俊樹

イタリアにてカントゥー国際コンクール優勝、ヴィオッティ国際コンクール、オランダミュージックセッションコンクール上位入賞。ヨーロッパを中心にロシア、中南米、中東、アジアで演奏活動に多忙を極めている。近年キエフ国立フィルハーモニーとのシューマン、ショスタコーヴィチとの共演が話題となった。またボラントニアでパレスティナ難民キャンプ国連支援コンサートを催すなど世界を又に掛け活躍する日本を代表する若手ピアニスト。

エドワルド・シュミーダー

シュミーダーはサンクトペテルスブルグに生まれ、オイストラフをはじめ名教授に学ぶ。1979年にアメリカに渡り名教授としてサザンカリフォルニア大学、メドウ芸術大学を経て現在はテンプル大学カーネル・ディングイッシュト・プロフェッサーでヴァイオリンを指導している。また学生オーケストラ「Palpiti」を結成。指揮者としても活動している。共演者にはイダ・ヘンデル、ユードィ・メニューイン、ナタール・ローゼン、エリック・フリードマン、堤剛等がいる。

沼田園子

東京芸大大学院を卒業。芸大、芸高の後進の指導を行う。これまでにNHK毎日学生コンクール2位、バガニーニ国際コンクール3位、クルチ国際コンクール5位を受賞。音楽祭では倉敷音楽祭、八ヶ岳音楽祭、木曽福島国際音楽祭、草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに出演、室内楽でもカーノ、ヘンケル等と共演、好評を博す。これまでに松井宏中、瀬戸瑠子、兎東龍夫、福元裕、海野義雄、久保陽子、浦川宣也、ベラ・カトーナの各氏に師事。水戸室内管弦楽団のメンバーとしても活躍。現在芸大、京都芸大、洗足学園で後進の指導を行っている。

ギトリスマスタークラス
希望者は8月18日15時よりオーディションを行い、9名の方を選出いたします。マスタークラスは公開無料です。

Violin

清水高師

10歳でNHK毎日学生コンクール優勝、N響と共演。
17歳で日本音楽コンクールに優勝。同時にレウカディア特別賞受賞。
翌年アメリカに留学。ヤッシャ・ハイフェッツに師事。メニューイン指揮ロイヤル・フィルハーモニック・オーケストラでデビューし多くの評論家に最も忘れがたいコンサートと評される。世界の7つの主要なコンクール全てに優勝、又は上位入賞。室内楽ではマルタ・アルゲリッチ、ミシャ・マイスキー、イヴリ・ギトリス、フー・ツォン、マリオ・ブルネロ、バシユメット等と共演。演奏活動は海外の音楽祭、海外オーケストラとの共演を中心に、テレビ・ラジオ等にも出演。国内ではハイフェッツの遺言で師の教えを後世に伝える事を活動の中心に東京藝術大学にて後進の指導を行っている。

Viola

大野かおる

5歳よりヴァイオリンを始め、15歳でヴィオラに転向する。
東京芸術大学付属音楽高等学校を経て、東京芸術大学を卒業。
同大学大学院修士を修了。ターティス国際ヴィオラ・コンクールでは2つの特別賞を、東京国際音楽コンクール「室内楽」では第1位に入賞し、併せて2つの特別賞も受賞する。在学中より活発な演奏活動を開始し、これまでに多数の著名なアーティストと共演し常に高い信頼を得ている。ソロと室内楽を中心に、コンサート、内外の音楽祭、放送、レコーディングなど幅広く活躍。
現在、アンサンブル of トウキョウのメンバー。芸大及び同付属高等学校、エリザベト音楽大学、東京音楽大学などで、後進の育成にも力を注いでいる。

Cello

菅野博文

斎藤秀雄氏に師事。第38回日本音楽コンクールで第1位に入賞。フルニエ氏に師事後、1971年カサド国際チェロコンクール第4位入賞。1972年シュタルケルに師事。1974年第5回チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞、同時にソ連作曲家課題最優秀演奏者として特別賞を受賞。1975年に日本でデビューリサイタルを開催。1976年よりフィラデルフィアのテンプル大学教授となる。また、ファカルティピアノトリオの一員として各地で演奏。現在、昭和音楽大学教授。

※ 都合により講師が変更になる場合がございますので、予めご了承ください